市内の図書館 4月から祝日も開館

定休日が月曜日から金曜日に変わります

図書館では利用サービスの向上を図るため、4月から今まで休館日としていた平日の「祝日」を開館することに伴い、月曜日の定休日を金曜日に変更します（金曜日が祝日と重なる場合は休館）。これにより、従来、月曜日が祝日と重なった場合は月曜日を開館し、翌火曜日を休館としていましたが、この場合は火曜日も開館になります。

図書館では、4月から祝日開館を実施します。どうぞご利用ください

休館日を変更する主な理由は、学校行事等が土曜・日曜日に行われ、その振替日が月曜日に当たる場合が多いこと、および近隣市の図書館が月曜日に休館が多く、開館することで広域利用の促進が図られることなどです。

詳しくは中央図書館☎475・4646へ。

団塊サロンを開催

テーマは「ひがしくるめを知ろう！」

東久留米市団塊の世代と地域参加企画委員では、東久留米の団塊世代ネットワーク（通称「団塊くるねっと」）を結成し、団塊世代の方や、その前後の年代の方を対象に「団塊サロン」を2回にわたり開催します。

【テーマ】「ひがしくるめを知ろう！」～東久留米に住んでいても、地域のことは分からないもの。サロンでは、この地域の隠された魅力を「くるねっと」メンバーと一緒に探求します。また、地域で活動を始めたい、仲間を作りたいという方も、ぜひご参加ください。入退室は自由です。気楽な雰囲気のサロンでお待ちしています

【日時】 2月16日（土）、3月15日（土）、いずれも午後2時～5時

【会場】 市役所1階屋内ひろば

当日直接会場へ。

詳しくは生活文化課市民協働係☎470・7738へ。

都営住宅 入居者を募集

申し込みは郵送で

都営住宅の入居者を次の通り募集します。申込資格等詳細は募集案内をご覧ください。

【募集種別】 ①家族向（ポイント方式）②単身者向、単身者用車いす使用者向、シルバーピア住宅③事業再建者向定期使用住宅

【募集案内の配布期間】 土曜・日曜日、祝日を除く2月4日（月）～13日（水）

※東京都住宅供給公社募集センター、東京観光情報センター（都庁第一庁舎1階北側）では、2月9日（土）～11日（祝）の午前9時半～午後5時も配布しています。

【募集案内の配布場所】 市地域政策課（市役所5階）、上の原・ひばりが丘・滝山の各連絡所（①②のみ）、都庁、都内市区役所、町村役場、同公社募集センター、同公社の各窓口センター

※すべての申込書は、期間中のみ同公社ホームページから入手可能できます。③は東京都中小企業振興公社、各地域中小企業振興センターでも配布しています。

申し込みは2月18日（月）までに（必着）、郵送で。

詳しくは①②が同公社募集センター☎0570・010810（配布期間中のみ）、配布期間前の問い合わせおよび③が同公社募集センター☎03・6418・5546、市地域政策課☎470・7764へ。

◆東京都住宅供給公社ホームページアドレス
http://www.to - kousya.or.jp

掲載店を拡充！ 見やすいフルカラー
みんなのタウン誌
KURUME-NAVI 2008
（くるめナビ）
第４号を発行！

市内の各店舗、企業、事業所の情報を分かりやすく紹介した「KURUME-NAVI2008」（第4号）を2月1日（金）に発行します。

キャッチコピーを「知りたいこと、きっと見つかる」とし、従来通り買い物や食事、暮らしに必要な情報に加え、市内の見どころ案内や産業の紹介および歳時記等も掲載し、保存版としてご利用いただけるようになっています。また、前号から取り入れたクーポン券も継続し、利用する方にお得な産業情報誌です。

お役立ち情報満載の冊子「くるめナビ2008」

配布は東久留米駅、市役所等の各公共施設に用意してあります。気軽に手に取り、ご利用ください。

詳しくは産業振興課☎470・7743へ。

※本冊子は各掲載店の広告料と市の公共ページ負担分で作成しています。

リベーレほんむら（下里一丁目）

高齢者福祉住宅 生活協力員を募集

高齢者福祉住宅リベーレほんむらの生活協力員を募集します。

【職務内容】 リベーレほんむらに居住し、居住者の緊急通報等の対応、生活相談、市役所等関係機関への連絡等

【募集人員】 1人

【勤務場所】 高齢者福祉住宅リベーレほんむら生活協力員居宅（下里1ノ11ノ22）

【報酬】 月額8万5000円程度を予定

【家賃】 家賃2DK・5万円（平額程度補助あり）

【申し込み資格】 次の①～④のすべてに該当する方。①市内に住民登録し、満20歳以上満55歳以下（2月1日現在）の方②現に同居している親族があり、世帯員全員が健康であること③現に自ら居住するための住宅を必要とし、リベーレほんむらの生活協力員居宅に居住できること④高齢者福祉に関心や理解があること

【入居予定】 4月

申し込み用紙の配布と受け付けは2月1日（月）～20日（水）の午前9時～午後5時に介護福祉課（市役所1階）で行います。

詳しくは同課高齢サービス係（内線2558、4923）へ。

まちの話題

市内の企業が初受賞 第5回多摩ブルー賞（技術・製品部門）

「多摩ブルー・グリーン賞」は、多摩地域で活躍する中小企業を営む方の優れた技術や経営手腕を評価し、表彰することで、地域企業による技術開発や経営戦略の創造の活力となり、地域経済がより活性化されることを目的として実施されるものです。

このたび市内の企業が初めて受賞しました。主催は多摩信用金庫。後援は経済産業省、東京都、多摩26市、各商工会議所等。選考委員は午前9時から

【受付期間】 高等学校等の正規の就業年限以内（毎年申請）

【給付金額【月額】】 私立が1万円、国・公立等が5000円

【受付期間】 土曜・日曜日を除く4月7日（月）～23日（水）

① ② 共通事項

【受付時間】 午前9時～午後4時（午年～午後1時を除く）

【受付場所】 教育委員会総務課（市役所6階）

【申請に必要な書類】 ①教育委員会にある奨学生願書および学校長の推薦書②家族の所得を証明するもの（平成19年分源泉徴収票または平成19年分所得税確定申告書の控え）③借家の場合は家賃を証明するもの（契約書または領収書の写し）

詳しくは同課庶務係☎470・7775へ。

手話通訳者 登録試験を実施

聴覚および言語に障害のある方が、家庭生活や社会生活を支障なく送れるよう「コミュニケーション支援事業（手話通訳）」を行っています。このたび、手話通訳者として登録していただける方に必要な登録試験を実施します。

【応募資格】 手話技術（おおむね実践クラス以上）を習得している20歳以上の市内在住の方で、手話通訳者として活動可能な方

【試験日時】 3月8日（土）午前9時から

【会場】 市役所7階控え室

申し込みは2月4日（月）～14日（木）に認め印を持参の上、障害福祉課（市役所1階）へ。

詳しくは同課福祉係☎470・7747へ。

市内の図書館 4月から祝日も開館

定休日が月曜日から金曜日に変わります

図書館では利用サービスの向上を図るため、4月から今まで休館日としていた平日の「祝日」を開館することに伴い、月曜日の定休日を金曜日に変更します（金曜日が祝日と重なる場合は休館）。これにより、従来、月曜日が祝日と重なった場合は月曜日を開館し、翌火曜日を休館としていました

図書館では、4月から祝日開館を実施します。どうぞご利用ください

休館日を変更する主な理由は、学校行事等が土曜・日曜日に行われ、その振替日が月曜日に当たる場合が多いこと、および近隣市の図書館が月曜日に休館が多く、開館することで広域利用の促進が図られることなどです。

詳しくは中央図書館☎475・4646へ。

団塊サロンを開催

テーマは「ひがしくるめを知ろう！」

東久留米市団塊の世代と地域参加企画委員では、東久留米の団塊世代ネットワーク（通称「団塊くるねっと」）を結成し、団塊世代の方や、その前後の年代の方を対象に「団塊サロン」を2回にわたり開催します。

【テーマ】「ひがしくるめを知ろう！」～東久留米に住んでいても、地域のことは分からないもの。サロンでは、この地域の隠された魅力を「くるねっと」メンバーと一緒に探求します。また、地域で活動を始めたい、仲間を作りたいという方も、ぜひご参加ください。入退室は自由です。気楽な雰囲気のサロンでお待ちしています

【日時】 2月16日（土）、3月15日（土）、いずれも午後2時～5時

【会場】 市役所1階屋内ひろば

当日直接会場へ。

詳しくは生活文化課市民協働係☎470・7738へ。

地域の防災に尽力された方へ 表彰状・感謝状を贈呈

1月7日に行われた消防出初式の表彰式典で、長期にわたり地域防災に尽力された消防団員の功績に対し、表彰状、感謝状が市長および消防団長から贈られました。

今回、表彰状および感謝状を贈られた方は次の通りです（敬称略。）

永年勤続表彰

●市長表彰

【20年永年勤続】 西川嘉弘（本部）

●消防団長表彰

【30年永年勤続】 早瀬広行（2分団団員）、遠藤清美（6分団団員）

【25年永年勤続】 大山久仁夫（5分団団員）

【20年永年勤続】 竹脇英巳（1分団部長）、並木宏之（1分団団員）、石屋崇真（2分団副分団長）、野島昭広（2分団副分団長）、町田毅（2分団団員）、小山茂夫（3分団団員）、小山正則（3分団副分団長）、貫井利行（6分団副分団長）、室井和広（9分団団員）、村野嘉安（10分団団員）

【15年永年勤続】 並木隆（1分団部長）、安田智（5分団団員）、高橋晃（5分団団員）、遠藤上明（6分団団員）、秋田浩延（6分団団員）、野村光則（7分団団員）、遠藤正人（8分団団員）

【10年永年勤続】 五十嵐上樹（1分団団員）、黒須勉（2分団部長）、小山知生（3分団部長）、下田博明（4分団団員）、篠宮武博（4分団団員）、海老沢幸雄（4分団団員）、坂本和也（第7分団団員）、河村辰昭（8分団部長）、大山貴一（9分団部長）、岸初男（9分団団員）、野崎正明（10分団団員）

退団感謝状

●消防団長感謝状

志賀野伸夫（1分団）、江沼亮（2分団）、井上隆（7分団）、岸明男（8分団）、野村春樹（8分団）、成瀬功（9分団）、島崎光司（9分団）

詳しくは消防本部総務課消防団係☎471・0119へ。

市民伝言板

会員募集

◆**スマートな話し方と纏番**（東久留米話し方クラブ）毎月第1・第3月曜日の午後2時～9時、東部地域センターで。入会金1000円、会費月1500円。詳しくは上原（みみや）☎476・0693へ。

◆**蠟華（ほっか）書道会** 月2回、木曜日の午後1時～3時、中央公民館で。会費月3000円。詳しくは鈴木☎422・7804へ。

◆**ボランティア演芸出前**（くるめ一芸会）定例会は毎月第1水曜日の午後2時～8時、田柴宅滝山五十嵐方で。入会金1000円、会費月3000円、趣味を生かした活動。詳しくは田端☎473・2403へ。

◆**大正琴**（琴伝流 和なごみ）会 毎月第1・第3月曜・木曜日の午後、中央町地区センターほかで。会費月3000円、初心者、中高年の方歓迎。詳しくは安中（あんなか）☎472・5243へ。

◆**少年野球ドリームセブン** 毎週土曜・日曜日の午前、第七小学校校庭で。入会金1000円、会費月1500円、小学生、初心者歓迎。高い指導体制。詳しくは前原☎472・6488へ。

◆**民踊（よう）**（東久留米館）2月は10日・24日、いずれも日曜日の午前10時～11時半、西地地域センターで。会費月500円、小学生4年生以上。各地の盆踊り等を中心に。詳しくは阿波連（あはれん）☎471・2763（午後7時～10時）へ。

◆**太極拳**（白鶴（はくつる））会 月4回、土曜日の午前10時～11時半、市役所1階屋内ひろばで。入会金1000円、会費月3000円、初心者、高齢者歓迎。詳しくは原☎475・1520（夜間）へ。

◆**東久留米スクエアダンスクラブ** 毎週水曜日の午後6時半～9時半、中央町地区センターほかで。会費月1500円、初心者、年齢を気にせずに始めることができます。初回は2月6日から。詳しくは指場☎475・5023へ。

◆**コーラス**（ドレミ合唱団）毎月第1・第3月曜日の午後1時半～3時半、南部地域センターで。入会金500円、会費月1500円。男性歓迎。詳しくは笠原☎473・3717へ。

◆**軽いタッチで描く水彩画と色鉛筆画の会** 毎月第1・第3金曜日の午前10時～正午、中央公民館で。出入金並3000円、会費月3000円。詳しくは村田☎477・0442へ。

◆**ヨーガの会フラザ** 月4回、金曜日の午前10時～正午、コミュニティホール東本町で。入会金1000円、会費月3500円。初心者歓迎。無料体験あり。詳しくは鐵目（こがば）☎477・1926へ。

◆**社交ダンス**（サークルシオン）月3回、土曜日の午後1時半～4時、南部地域センターで。入会金1000円、会費月3500円。女性4級プロ講師に

よる指導。多少経験のある方。詳しくは谷村☎464・6517へ。

◆**ピーパー・カブスカウト**（ボーイスカウト東久留米第2団）月2回程度、大門寺裏の団舎で。入団金2600円、隊費月7000円。年長児・小学3年生。詳しくは和田☎090・1207・4304へ。

◆**社交ダンス**（リベラ会）毎週木曜日の午後7時半～9時半、西部地域センターで。入会金1000円、会費月3000円。多少経験のある方。詳しくは江花☎475・3796へ。

◆**将棋研究会** 毎週日曜日の午後1時～5時、成美教育文化会館ほかで。入会金1000円、会費2カ月1000円。若い方歓迎。詳しくは坪田☎473・2333へ。

催し

◆**写真展**（東久留米写真同好会）2月1日（金）～5日（火）午前10時～午後6時（5日は5時まで）、スペース105で。入場無料。習作とされの中から選んだ作品を展示。詳しくは花☎478・8768へ。

◆**保育・教育・子育てを考える集会**（子育て集会実行委員会）2月10日（日）午前10時から記念講演②午後1時半から分科会（①が成美教育文化会館ほかで。②が同会館および上原ふくのかの保育園等で。資料代500円。講師は「非行と向き合う親たちの会事務局長の春野すみれ氏。詳しくは草刈☎472・3757へ。

◆**講演会「食品の裏側」**（公部門）を呼ぶ会 2月16日（土）午後3時から、ひばり保育園ホールで。保育あり（定員20人、費用2000円。2月8日（金）まで申し込みを。講演会の申し込みは14日（木）までにファクス468・2272でひばり保育園へ。詳しくは園☎463・6955へ。

◆**国際理解講座「インドのお話とサリー体験**（東金）500円、会費月1250円。当日は落語家の桂伸治氏と講談師の神田ひまわり氏。詳しくは宮秋☎477・1292へ。

その他

◆**ボランティアの日本語指導者募集**（外国人のための東久留米にほんご）毎月第1・第3水曜日の午後7時～8時半（子どもクラスは昼間）。市民プラザホールで。活動費月300円。資格不問。詳しくは武貞（たけさだ）☎090・5200・8970へ。

◆**浅間祭「二の街で春を呼ぶ**（くるめ）一歩の会 2月9日（土）午後5時開演（下里一周辺）、西部地域センターホールで。入場料は前売り1200円（当日1500円）。出演は落語家の桂伸治氏と講談師の神田ひまわり氏。詳しくは宮秋☎477・1292へ。

ポカポカはるのつどい

障害のある子どもたちの参加を募集！

障害のある子どもたちに楽しい遊びの一日を過ごしてもらおうと、今年も「ポカポカはるのつどい」を3月28日（金）に、中央公民館で開催します。

同つどいは、障害のある子どもたちが地域の子どもたちやボランティアの皆さんと一緒に、いろいろな遊びを通して交流し、楽しい春休みの一日を過ごす催しです。

楽しいイベントが盛りだくさん！ ぜひご参加を

障害のある子どもたちには、それぞれボランティアが付いてお世話をするほか、希望者にはマイクロバスの送迎もあります。気軽にご参加ください。

【日時】 3月28日（金）午前10時～午後2時15分

【対象】 市内在住の18歳未満の障害のある子どもたちとその家族

【内容】 障害のある子どもたちに楽しい遊びの一日を過ごしてもらおうと、今年も「ポカポカはるのつどい」を3月28日（金）に、中央公民館で開催します。

【会場】 中央公民館

【持ち物】 弁当・水筒・敷物

申し込みは2月12日（火）までに電話で公民館☎473・7811へ。

ボランティアさんを募集

「ポカポカはるのつどい」には、たくさんのボランティアの協力が必要です。

活動内容は、障害のある子どもとペアになり、遊びのコーナーを利用して、楽しい一日を過ごしていただくことです。障害のある子どもたちが生き生きと生活できる地域社会をつくるために、ご協力をお願いします。

希望する方は、3月4日（火）までに同館へ直接または電話でご連絡ください。

お済みですか？ 特別弔慰金のご請求

請求期限は20年3月31日です。この期限を過ぎますと、法律の規程により特別弔慰金を受ける権利が消滅します。対象となる方は福祉総務課（市役所1階）で手続きをしてください。

【対象者】 戦没者等の死亡当時のご遺族で、平成17年4月1日において公務扶助料、遺族年金等を受ける方がいない場合に、次の順番による先順位のご遺族お一人に特別弔慰金が支給されます。①弔慰金受給権者②戦没者等の子③父母④孫⑤祖父母⑥兄弟姉妹（戦没者等と生計関係を有していなかった方等は除きます）⑦前記③～⑥以外の父母、孫、祖父母、兄弟姉妹⑧前記①～⑦以外の三親等内親族（戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上生計関係を有していた方に限ります）

【給付内容】 額面40万円、10年償還の記名国債

詳しくは同課☎470・7741へ。

中学生の「税についての作文」入賞者を発表します

全国納税貯蓄組合連合会が主催し、国税庁が後援する19年度中学生の「税についての作文」に、市内5中学校から457編の応募があり、10人（このほかに学校感謝状1校）が入賞しました。入賞者は次の通りです（敬称略。）

東久留米市長賞 二之方 茜（南中学校3年）

▼東久留米市教育委員会賞 渡辺久瑠美（下里中学校3年）

▼東久留米市租税教育推進協議会会長賞 相馬すみれ（中央中学校3年）

▼東村山税務署長賞 三上恵理（中央中学校3年）

▼東京都立川都税事務所長賞 能勢友規（南中学校3年）

▼多摩武蔵納税貯蓄組合連合会会長賞 武内雄太（下里中学校3年）

▼東京税理士会東村山支部支部長賞 渡辺宗文（南中学校3年）

▼社団法人東村山青色申告会会長賞 橋本彩（西中学校3年）

▼社団法人東村山法人会会長賞 福田弥里（西中学校3年）

▼多摩武蔵納税貯蓄組合連合会会長作 朝井康介（南中学校3年）

▼全国納税貯蓄組合連合会会長感謝状 東久留米市立下里中学校

※各受賞作品は2月4日（月）～6日（水）の期間、市役所1階屋内ひろばに展示します。

詳しくは納税課管理係☎470・7729へ。

19年度中学生の「税についての作文」で入賞された皆さん（前列）

〈東久留米市長賞〉「税 金」

南中学校3年 二之方 茜

まず私は、税金ってなんだろう？ と思い、調べてみました。疑問に思った税金について仕事で働いている父の給料支給明細書を見せてもらいました。初め見た時は、並んでいる数字がどういう意味を現しているのかわかりませんでした。母に聞いてみたところ、税金は、所得税、地方税、保険料などで、お給料の中からその額が差し引かれていることがわかりました。その税金が、どんなことに使われているのか調べてみたら、学校に関する教育費や、公民館、図書館などの文化活動、そして私たちの生活の安全を守っている警察署、消防署、救急車などにも使われていることがわかりました。また、意外だったことは、東南アジアやアフリカなど発展途上国のダムの建設道路、橋の整備に税金を使い援助しているということです。さまざまなことに使われている税金ですがその中でもやはり、私にとって教育費は一番身近に感じました。教育費は、体育館、グランド、プール、教室の机、いすの、コンピューター室のパソコンや、音楽室の備品、運動用具、無料に配布されている教科書も税金でつくられています。父は私をふくめ子どもが3人いますが、納税している人たちの中には子どものいない人もいるだろうし、生活の苦しい人、病弱の人もいることでしょう。一生懸命働いてくれて税金を納めてくれているおかげで、私は学校で勉強ができます。だからこそ、充実した学校生活を送らなければならないと思います。学校の物は、大切に使わなければならないと、改めて思いました。私は今まで税金という言葉は聞いたことがあるだけで、それがどのように使われているのだなんかまったく知りませんでしたが、税の作文を書くことによって税金という意味が少しわかりました。私自身の身近な生活に直接かかわる多くのことが税金によって成り立っていることは確かなことです。なので、税金を納めているすべての人に感謝しなくてはいけないと思いました。

「市民伝言板」利用案内

新年度の受け付けは3月3日から

20年度「市民伝言板」前期分（広報4月15日号～10月1日号に掲載）の申し込みは、3月3日（月）午前8時半から、広報課窓口（市役所2階）で受け付けます。所定の用紙に必要事項を記入の上、直接提出してください。

詳しくは同課☎470・7708へ。